



JASDAQ

平成28年 2月15日

各 位

会 社 名 アストマックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 本多 弘明
(JASDAQ スタンダード・コード 7162)
問合せ先 常務取締役 小幡 健太郎
電 話 03-5447-8400

当社グループにおけるアセット・マネジメント事業に関するお知らせ

当社グループでは、このたび、学校法人東京理科大学（本社：東京都新宿区神楽坂一丁目3番地、理事長：本山和夫）が主に出資する大学発ベンチャーキャピタルファンド『TUSキャピタル1号投資事業有限責任組合』（出資約束金額：約40億円、出資約束期間：約10年間）（以下、「当組合」）を組成し、運用を任されることとなりましたので、お知らせ致します。

記

1. 当組合の概要について

当組合の目的は、学校法人東京理科大学の教員、学生、卒業生が有する技術・研究成果等の事業化支援や事業化した技術・研究成果等への出資、経営又は技術指導による企業価値向上等を通じて、広く社会に還元及び寄与すること、また、地域活性化につながる企業への出資及び大学運営に資する出資等を実施し、資産価値の向上及び最大化を実現することにあります。

学校法人東京理科大学は、国を挙げて科学技術・学術政策の総合的推進に重点がおかれる中、毎年5,000人という多くの理科系学生が入学し、日本の私立大学卒業生初のノーベル賞受賞者を世に送り出した、高度な技術・研究成果を有する大学です。一方、当社グループは、幅広いファンド管理のノウハウを有し、これまで多くの機関投資家を中心とする運用ニーズにお応えしてきた結果、運用資産額が3,000億円を超えたアセット・マネジメント事業を営んでおり、また、グループ全体で再生可能エネルギー関連事業及びこれを対象とするファンド運営等を通じて地域活性化等についての取組も手掛けてきた企業グループです。学校法人東京理科大学と当社グループとが協力することで、当組合の目的達成に向けて、推進していくものです。

当組合は、当社の連結子会社であるアストマックス・ファンド・マネジメント株式会社（本社：東京都品川区東五反田二丁目10番2号、代表取締役：小幡健太郎、平成28年1月19日付で適格機関投資家等特例業務（金融商品取引法第63条）の届出済）を無限責任組合員とし、学校法人東京理科大学及び当社を有限責任組合員とするものです。学校法人東京理科大学において契約締結について機関決定がなされ、本日開催の当社取締役会において投資事業有限責任組合契約締結について決定し、本日付で調印を完了しました。

また、当組合については、当社の連結子会社であるアストマックス投信投資顧問株式会社が、

投資顧問契約に基づいて、有価証券等の価値等又は金融商品の価値等の分析に基づく投資判断に関する助言及び、法令等を遵守するための助言を行うこととしております。

一方、当組合の目的達成のため、本組合の投資先事業者等に対して行う経営又は技術指導については、その一部または全部を、東京理科大学インベストメント・マネジメント株式会社（本社：東京都新宿区神楽坂一丁目3番地、代表取締役：片寄裕市）に委託することとしております。学校法人東京理科大学の収益事業を統括する事業会社である同社と連携・協力することで、投資先事業者等への情報提供及び共同支援業務などを、より効果的に行うことが可能になるものと考えております。

2. 本取組の当社グループにおける位置付け

当社では、平成26年に公表いたしました『中期経営計画2014』のアセット・マネジメント事業における重点施策として、「事業ポートフォリオの分散化（多様化）+ 収益基盤の拡充」「独自性の発揮（運用企画・事業企画・顧客サービス・対応力等）」「新規分野（再生可能エネルギーを対象とするインフラファンド）への取り組み強化（グループ会社と協働）」を掲げておりますが、当組合への取組は、この重点施策にも合致するものです。

なお、アストマックス・ファンド・マネジメント株式会社は、当社と資本関係はございませんが、代表取締役を当社の取締役が兼任することや、当社子会社のアストマックス投信投資顧問株式会社がファンドの運営に関与すること等を鑑み、当社グループの施策の一環として推進していくものです。

3. 今後の見通し

本事業における当社グループの業績に与える影響は現在算定中であり、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上